

「AI」画像で食肉選別」研究 都城高専に助成金

日機装の財団

日機装(東京)の創業者が、工業技術の発展・進歩に寄与することを目的に設立した一般財団法人「二樹工業技術奨励会(宮崎市)は、今年の助成先に都城市・都城高専電気情報工学科の小玉昂史助教(34)を選んだ。同校で18日に通知式があ



り、93万5千円の助成決定通知書が贈られた。写真。小玉助教はブローラーを食肉処理する工場のライン上で、人工知能(AI)や画像処理技術を使って規格外品などを見つける研究を進めている。県内で獣医師不足が深刻化する中、同業務を行う獣医師の負担軽減につながるという。

通知式では、宮崎日機装(宮崎市)の竹田浩之社長が「県内主要産業の課題解決につながる、助成金が少しでも役立てば」と激励。

小玉助教は「古里に恩返しできるよう、今後も研究に励みたい」と話していた。

2024年度(事業年度24年7月～25年6月)の同助成金には、全国から50件の応募があり、同日までに7件を選定。24年度の助成総額は618万5千円。

他の助成先は次の通り。

東北△高知△東京理科大学

鹿児島△愛知県立瀬戸工科高
大阪工業大
(奈須貴芳)

著作権は宮崎日日新聞にあります。

きりしま

題字・吉村莉那さん
(南小6年)